

## Stage6

### In the Bin

#### ゴミ箱の中

作・ダミアン・ハーヴェイ

絵・ジョン・スチュアート

#### <読むまえに>

お子さんが読むまえに、この本についてお子さんと話しましょう。

・表紙と裏表紙を見て、この本に書かれていそうなことをお子さんと話しましょう。

・お子さんにたずねてみましょう：

キャットとタイガーはどうしてゴミ箱行きになってしまったのかな。

ふたりはどうしたらゴミ箱から出られるかな。

#### <読んでいるときに>

自分のスピードで読めばいいよと、お子さんにいってあげましょう。

お子さんが単語を読むのにつかえたときは、次のようにうながしてあげてもいいでしょう：

・ことばを声にだしていってごらん。

・その文章のはじめにもどって、もう一度読んでみよう。

・絵を見るとわかるよ。

#### <ひっかかることば>

ここにあるのは、お子さんがこの本を読むときにひっかかりそうなことばです。

should ～したほうがいい

piece 一切れ

sticky ネバネバする

could もしかして～できるのではないだろうか

sponge スポンジ

#### [p. 1]

ゴミ箱の中

作・ダミアン・ハーヴェイ

絵・ジョン・スチュアート

#### [p. 2]

お話にでてくるひと

タイガー

トビー

キャット

タイガーのママ

#### [p. 3]

タイガーとトビーはアップルパイを食べていました。

[p. 4]

タイガーは自分のお皿の上のアップルパイを見ました。それからトビーのお皿の上のアップルパイを見ました。トビーのひときれのほうが大きなアップルパイでした。

[p. 5]

「大きいほうがほしい！」タイガーが言いました。

「いつも大きいほうをほしがるんだから」トビーが言いました。「でも全部食べきれないじゃないか」

[p. 6]

次の日、キャットがタイガーの家にやってきました。

「アップルパイ、食べる？」タイガーがたずねました。

「おいしそう！ うん、ちょうだい」、キャットは言いました。

アップルパイはひときれしか残っていませんでした……。

[p. 7]

キャットとタイガーは同じことを考えました。

ふたりは時計のボタンを押しました。

[p. 8]

ふたりが分けあうのに十分なほど大きいアップルパイがありました。ふたりはすこし食べましたが、あまりにも多すぎました。

「もうおなかいっぱいだよ」タイガーが言いました。

「私も」キャットが言いました。

[p. 9]

突然、キャットが物音を聞きました。

「だれか来るわ」キャットが言いました。

「急げ！」タイガーが言いました。「かくれよう」

タイガーとキャットはアップルパイのうしろにかくれました。

[p. 10-11]

ママがひときれのアップルパイを見ました。

ママはキャットとタイガーには気がつきませんでした。

「もったいないわね」おかあさんは言いました。

おかあさんはアップルパイをゴミ箱にすてました。

[p. 12]

キャットはネバネバする卵のからの上に着地しました。

それはキャットの服や髪にくっつきました。

「オエッ！」キャットは言いました。

「オエッ！」

[p. 13]

タイガーは一切れのトマトの薄切りの上に着地しました。

「オエッ！」タイガーは言いました。「みんなグチャグチャだよ」

「この食べもの見てごらんさいよ」キヤットは言いました。  
「もったいない！」

[p. 14]

「トリがこのパン、食べられたかも」タイガーが言いました。  
「このニンジン、アトのハムスターが食べられたかもしれない」キヤットが言いました。

[p. 15]

「この食べもの、どうなるの？」キヤットがたずねました。  
「ゴミ捨て場に行くんだよ」タイガーが言いました。

[p. 16]

「ここから出ないと」キヤットが言いました。「そうしないと私たちもゴミ捨て場行きになっちゃう！」  
「さあ早く！」

[p. 17]

タイガーはゴミ箱をよじ登って外に出ようとしてしました。  
何度も挑戦しましたが、よじ登って外に出ることはできませんでした。

[p. 18]

キヤットはスポンジの上でジャンプしましたが、外に飛び出ることはできませんでした。

[p. 19]

「ゴミ袋に穴をあけてみたらどうかしら」キヤットが言いました。  
「いい考えだ！」タイガーが言いました。「ゴミ袋を切るのにこの卵のからが使えるぞ」

[p. 20]

キヤットとタイガーはゴミ袋の穴から落ちました。  
たくさんの食べものも落ちました。

[p. 21]

「すごい散らかりかただ」タイガーが言いました。  
キヤットは笑いました。  
「こんなにたくさん食べものをむだにしちゃだめよ！」キヤットは言いました。

[p. 22-23]

自分でこのお話をもういちど言えますか。

<読んだあとで>

読んだあとで、この本についてお子さんと話しましょう。こんな質問をしてみましょう：

- ・タイガーとキヤットはどうしてアップルパイを食べるために小さくなったのかな？
- ・タイガーのママは、どうしてゴミ箱にアップルパイを捨てたんだろう。
- ・この本を読んでどう思った？

この話をまた読んでみようとお子さんにすすめてください。読む自信をそだて、つかえずに読めるようになります。

<ほかにすること>

この本のことをくりかえし話題にしましょう。

いらなくなった食べものの使い道について、お子さんがポスターを作るのもいいですね。古いパンはトリにあげるのもいいですし、シリアルはシリアルのケーキを作って使い切るのもいいでしょう。また、レタスはペットのウサギにあたえるのもいいですね。